

はできるだけ早く「天気」および「集誌」に掲載する。

2. 会員の新規加入の承認について

賛助会員沖縄電力株式会社、団体会員広島県立農業試験場図書室および個人会員吉崎徳人はか22名の新規加入が承認された。

3. 学術会議関係について

昭和59年度監査において、指摘のあった日本学術会議会員の候補者の選定および推薦人の指名について審議した。今後さらに検討することとする。

4. 本学会出版物の著作権使用依頼の取扱いについて

原則として、庶務担当理事が処理することとする。

日本気象学会誌 気象集誌

第II輯 第63巻 第6号 1985年12月

齊藤直輔：中緯度の準定常波と本邦の梅雨との関係について

武田喬男・池山雅美：西太平洋における約30日周期の雲量の変動

安成哲三：Southern Oscillation（南方振動）に伴う熱帯東西循環の伝播モード

余田成男：サイン型の地形上を流れる準地衡順圧流の安定状態の多重性

田中 浩・山中大学：中規模山岳波の崩壊によって惹起される下部成層圏の大気循環

廣田 勇・二木 徹：中層大気中の慣性重力波に関する統計的研究

M.L. Salby・林 良一：極軌道衛星データから求められる時空間スペクトルと総観図の唯一性について

宮内正厚：層状雲の散乱透過光の特性（I）角度分布特性について

宮内正厚：層状雲の散乱透過光の特性（II）波長分布特性について

横山辰夫：層状性降水における微物理過程の二波長（0.86 cm・3.2 cm）レーダー観測

第I部 降水粒子によるレーダー電波の減衰とその補正法

横山辰夫・石坂 隆：層状性降水における微物理過程の二波長（0.86 cm・3.2 cm）レーダー観測

第II部 降水粒子の粒径分布の変化に関する研究

村上正隆・孫野長治・菊地勝弘：天然の雪結晶による エーロゾル除去作用に関する実験

第III部 補捉率に及ぼす雪結晶の電荷の効果

吉門 洋・水野建樹：播磨地域のオゾン高濃度と日射・風速の関係

山元龍三郎・岩嶋樹也・Sanga-Ngoie Kazadi・星合 誠：気候ノイズの算定法について

要報と質疑

山元龍三郎・岩嶋樹也・Sanga-Ngoie Kazadi・星合 誠：気候ジャンプ-気候診断の一つの仮説

編集後記：毎年、12月号にその1年の総目次が掲載されるが、最近、測器及び観測法に関する論文が少ないように思われる。この分野の方々に先日 WMO から朗報がはいった。

WMO では、気象測器及び観測法に関する 優秀な論文に対して、「ヴィルホ・バイサラ賞」を贈ることになった。この第1回授賞の推薦が WMO から紹介された。この期限は3月14日なので今回は間に合わないが、我とおもわん方は、次の機会（来年）に応募されてはいかがだろうか。応募の基準は右のものである。

対象は研究論文であり、WMO 公用語以外の言語で発表された論文は、WMO 作業用言語の全訳を付加すればよい。また、この論文は選考の年の直前18カ月以内に発表された論文のみが対象としての資格を有し、既に国際的な賞を受けた論文は資格がない。これらの応募された論文に対し、WMO は（1）主題の重要性、（2）着想と方法の新規性、（3）成果の WMO 諸計画に対する価値、について同じ重みで評価選考される。

ちなみに、賞は賞状と総額1,000米ドルの賞金からなっている。（Y・J）